2016年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子　　1部リーグ戦

試合日	2016.09.14
開始時間	18:30
会場	大阪体育大学(第6体育館)
コート	B コート
試合ＮＯ	132

勝チーム			敗チーム
立命館大学	85	15 - 21 23 - 18 17 - 12 30 - 16	67	大阪経済大学
勝ち点5			勝ち点2

戦評

【総括】平成28年度関西学生バスケットボールリーグ戦第7日目は、着実に4勝中の立命館大学と、前週格上の京都産業大学に見事勝利を挙げたものの、思うような結果が出ず2勝中でなんとか白星を挙げたい大阪経済大学との一戦となった。前半は大経大が流れを引き寄せ、最大9点差まで立命館を引き離し、多数の選手を起用しながら多彩なディフェンスパターンを展開。立命館を抑え込みたい大経大だが、オールラウンドに得点を重ねる立命館の絶対的エース#35福永が圧倒的存在感を見せ対抗。39-38と大経大1点リードで終えた。
後半は依然、大経大が多彩なディフェンスでリードを保つが、徐々に立命館のシュートが決まり出す。キャプテン#13西岡が勝負所で一気にギアを上げ大経大に猛追し、逆転に成功。大経大は何度もディフェンスパターンを変え、プレッシャーを与え続けるが惜しくも再び流れを引き戻すことは出来ず、67-85で敗北。しかしゾーンを駆使した多彩なディフェンス展開や、内外バランスの取れたオフェンスパターンが完成されれば大経大は更に進化したバスケットを展開してくれるだろう。対して、見事5つ目の白星を大逆転で挙げた立命館は、また一歩インカレへと近づく好ゲームとなった。

【第1ピリオド】先制は得点ランキング7位の立命館#35福永のフリースロー。立命館はインサイドを中心にオフェンスを組み立てる。対する大経大は得点ランキング2位の絶対的エース#1木下を中心にオフェンスを展開する。先に流れを掴んだのは大経大。今年度関西学生選抜にも選出された#33重本が、鮮烈なブロックショットからローポストでの1on1で存在感を放ち、7点差まで立命館を引き離す。たまらず立命館はタイムアウト。流れを断ち切るべく、2-3ゾーンディフェンスを展開するが、大経大の勢いを止めることができず、内外バランスよく得点を許してしまう。オフェンスでは、シュートを決め切れないまま6分間、沈黙を続ける。拮抗を破ったのはやはり頼れるエース#35福永。得意のインサイドで2連続シュートをねじ込む。続けて#5岸本が3Pシュートを沈めたところで第1ピリオド終了。15-21で立命館は6点ビハインド。対する大経大は7人もの選手を起用し、余裕のある試合運びとなった。

【第2ピリオド】先に仕掛けたのは大経大。2-1-2のハーフコートゾーンで立命館に圧をかける。しかし、ここで黙っている立命館ではない。#35福永がギアを上げ連続得点からのバスケットカウントで一気に同点まで追い付く。大経大はタイムアウトを要求。インサイド#20井福にボールを集め連続得点。ディフェンスでは3クォーターでのゾーンプレスからマッチアップゾーンを展開する。しかしそれが裏目となりノーマークを多数生み出してしまい、その隙に立命館は得点を着実に重ね、第2ピリオド終了で点差は1点まで歩み寄る。

【第3ピリオド】後半開始の火蓋を切ったのは、大経大#1木下の相手の気を削ぐような遠距離3Pシュート。再びオフェンスの流れを掴んだ大経大は9点差まで立命館を引き離す。立命館#35福永は現状を打開しようと、果敢にもアタックを仕掛けるが大経大#33重本のブロックショットに阻まれる。対する大経大はキャプテン#5大原を軸に、やはり内外バランスの良いオフェンスを展開し、確実に得点を重ねる。しかし立命館の苦しい状況を打破したのはキャプテン#13西岡。連続3Pシュートからブレイクを創出し一気に逆転に成功。ディフェンスでも圧をかけ、大経大にシュートを打たせない。55-51で第3ピリオド終了。虎視眈々を勝機を伺っていた立命館#13西岡の決定打が大経大にとって大きな痛手となる。

【第4ピリオド】立命館#13西岡の3Pシュートで第4ピリオド開始。インサイドに#23原田を投入し、#13西岡と共に連続得点。大経大はオールコート2-1-2のゾーンプレスで立命館を抑え込もうとするが、こと如く打ち破られてしまい、みるみる点差が開いてしまい14点リードを許してしまう。オフェンスでは、シュートを打ち焦ってしまい早打ちを連発。ボールポゼッションを大幅に立命館に奪われてしまう。完全にペースを奪われてしまった大経大は、残り3分からオールコートマンツーでプレッシャーを高め決死の追い上げを図るが惜しくも届かず。85-67で試合終了。立命館は4人が2桁得点を挙げる活躍で、インカレへの道に1歩近づいた。惜しくも敗れた大経大はエース#1木下が17得点を挙げるも、勝負所でのスコアラー不在が大きな痛手となった。

主審	堂國　和昭	副審	幡丸　登志久	戦評	佐々木　未央(関西学連)
		記録	関西学生バスケットボール連盟		

立命館大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
2	*	平岡　勇人	2	0	0	0	1	2	2	1	1	0	1	0	3	0	0	15
5	*	岸本　祐也	19	1	2	7	16	2	2	2	1	3	4	0	4	0	0	32
10		中島　海渡	1	0	0	0	1	1	2	2	1	5	6	0	0	0	0	17
13	*	西岡　信次	11	3	5	1	3	0	0	1	1	1	2	0	1	0	0	25
18		葛原　海都	16	2	2	5	8	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	25
22		山田　和輝	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
23	*	原田　祥伍	6	0	0	3	5	0	0	0	1	4	5	0	2	0	0	18
24		中西　琢斗	2	0	0	1	1	0	0	1	1	1	2	0	0	0	0	6
32		大野　巧人	2	0	5	0	2	2	5	1	0	1	1	0	0	0	0	17
34		阿部　直道	8	0	0	4	5	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	15
35	*	福永　雅刀	18	0	0	7	15	4	5	1	1	8	9	0	1	0	0	28
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:		松浦　拓哉								0	0	0	0	0				
合計			85	6	14	28	57	11	16	12	7	24	31	0	13	0	0	200
			RATE	42.9%		49.1%		68.8%										

大阪経済大学

No.	S	選手名	PTS	３Ｐ 成功	３Ｐ 試投	２Ｐ 成功	２Ｐ 試投	ＦＴ 成功	ＦＴ 試投	F	REBOUND OR	REBOUND DR	REBOUND TOT	TO	AS	ST	BS	MIN
0		篠原　敏希	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
1	*	木下　真吾	17	1	4	6	14	2	2	2	0	3	3	0	4	0	0	33
4		岩田　海斗	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
5		大原　俊祐	5	1	4	1	4	0	0	3	2	1	3	0	2	0	0	18
10	*	志方　恵一	18	1	2	7	12	1	3	2	3	3	6	0	1	0	0	35
12	*	堤　昂大	2	0	1	1	1	0	2	1	0	3	3	0	1	0	0	16
20		井福　普太郎	4	0	0	2	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	9
21	*	牧谷　朋紀	9	1	4	3	5	0	0	3	2	0	2	0	0	0	0	25
33	*	重本　和毅	10	0	0	4	7	2	4	3	3	12	15	0	4	0	0	34
77		中島　智紀	2	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	11
88		戸部　秀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:		鳥　和成	-							0	0	0	0	0				
合計			67	4	18	25	47	5	11	14	10	24	34	0	12	0	0	200
			RATE	22.2%		53.2%		45.5%										